

「元気いっぱい・笑顔いっぱい」

特別支援教育統括コーディネーター 加賀谷 勝

「子どもの心をくすぐる仕掛け」

- 1 「～すると～できる」→やるべきことが先、楽しみは後
 - ・「勉強が終わったらゲームをしようね」と交渉をする。
 - ・サンドイッチ方式を取り入れる。(楽しみ+やるべきこと+楽しみ)
「あと2回やったらおしまいね。勉強が終わったらまた遊ぼうね」
- 2 不適切な行動を適切な行動にすり替える
 - ・ハサミを無断で取ったとき、「あっ、先生がそのハサミを使おうとしていたんだよ。Aさん、取ってくれてありがとう」と、不適切な行動をよい行動にすり替えてほめる。
 - ・間違えて失敗したら、注意を与えるよりも適切行動をサラッと伝えて幕を引く。
- 3 煙に巻く作戦
 - ・「□□ということになっています」「ここには〇〇と書いています」と淡々とルールを説明したり、具体的なデータを伝えたりして、子どもが納得できるようにする。
- 4 選択肢を与えて、子どもが決める（自己決定・自己選択）
 - ・やってほしいことを笑顔で二つ提示する。子ども自身が選択すると、自分の意思が通ったという満足感が得られ、実行に移す確率が高まる。
「漢字と計算、どっちやる？」 「片付けを9時からやる？ 9時10分からやる？」
- 5 行動と思考の切り替えはキーワードで
 - ・「レディーファースト」「負けるが勝ち」「園で一番のお兄さんだもんね」、「全集中させよう」など、子どもの好きな言葉やヒーローのセリフで気持ちを切り替える。
 - ・怒りを鎮めるキーワード→「なんとかなるさ」「まあいいか」「こんなときもあるさ」
- 6 目標は肯定的に、目に見える評価を
 - × 「授業中、後ろを向かない」
 - 「チャイムが鳴ったらすぐに座る」、「休み時間にいすを中に入れる」
 - ・頑張りが見て分かる評価をしてモチベーションを上げる。



〈子どもの心をくすぐるシンプルな方法〉

- 1 触ること（安心感と幸福感をもたらす）
 - 2 見ること（子どもは見守ってほしいもの）
 - 3 声を掛けること（具体的な言葉で認めていることを伝える）
 - 4 話を聴くこと（子どもはいつも話を聴いてほしいと願っている）
- 子どもに対して「あなたを認めています」とメッセージやサイン（グータッチ、笑顔、アイコンタクト、言葉等）を送るだけで、子どもの心をくすぐる効果があります。



とれたて直送便



☆子どもはドキドキ、保護者はハラハラする秋



就学時健診がスタートしました。その中で子どもたちは「スクリーニング検査」を受けます。慣れない場所で、初対面の人の話を聞いて検査に挑む子どもにとっては、ドキドキする時間です。「緊張する」と不安を言葉で表現する子ども、今にも泣き出しそうになる子ども、落ち着かず周りの様子を気にする子どもなど、いろいろな表情を見せます。一方、我が子の就学先に悩む保護者にとっては、ハラハラする時期となり、一年の中で最も相談件数が増えます。保護者の思いに寄り添いながら、園での様子や客観的な実態把握を基に、適正就学に向けた情報提供に努め、小学校入学をハードルではなくステップになるようにしたいと思います。